

石灰窒素でジャンボタニシ防除

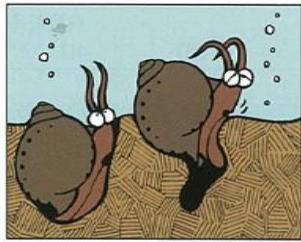
このごろ、温暖化の影響もあり、ジャンボタニシの被害を受けた水田を見るようになりました。ほおっておくと被害の拡大が心配されます。

稲刈り後と田植え前、石灰窒素を使った防除法があります。あわせて、用水路の掃除など集落全体の防除が効果的です。効果の高い石灰窒素で防除しましょう。

収穫後防除の手順

STEP-1

ジャンボタニシの活動を促すために水温が15℃以上の時期に3～4cm湛水し、1～4日放置してください。ジャンボタニシが活動を始め、水中に出てきます。



STEP-2

石灰窒素20～30kg/10aを全面にむらなく散布して、3～4日放置してください。

Point!

石灰窒素の主成分“カルシウムシアナミド”は、水中でカルシウムとシアナミドに分解し、このシアナミドが殺菌効果を発揮します。

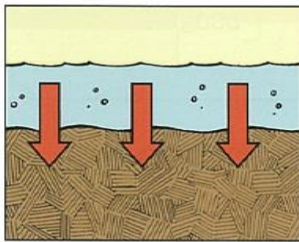


STEP-3

田面水は用水路に流さずに、必ず自然落水を待ってください。

Point!

石灰窒素の魚毒性はB類です。石灰窒素を含んだ水が水路に流れ出さないように注意してください。



STEP-4

田面が乾いた後、5～10cm程度浅く耕うんしてください。

Point!

この作業を行うことにより、石灰窒素の効果で稲わらの腐熟が促進されます。

田植え前防除の手順



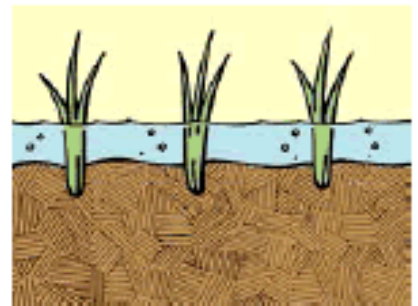
①荒代かき・湛水(3～4日間)

荒代かき後3～4cm湛水し、3～4日水深を維持してください。漏水田では、代かきを十分に行い、漏水を防止してください。



②石灰窒素の施用

(石灰窒素 20～30kg/10a)
石灰窒素を全面にむらなく施用した後、水深を維持しながら3～4日放置してください。



③代かき・田植え*

代かき後2～3日以降、田植えします。

*石灰窒素施用後、田植えまで5日以上おいてください。

石灰窒素 20～30kg/10a は窒素 4～6kg に相当します。この量に応じて基肥を減らしてください。なお、落水、かけ流しは止めて下さい。